ふれあいネットワーク

# りくぜんたかた 社協（しゃきょう）だより

10月号　No.115

２０２０年１０月２１日 発行

【編集／発行】
社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会
〒０２９－２２０５
陸前高田市高田町字鳴石５０番地１０
電話番号　０１９２－５４－５１５０
ホームページ　http://www.rikutakashakyo.jp/

主な内容

感謝状、福祉車両贈呈式、くらしの応援窓口・・・・・・・・・・・・・・・・２P
老人クラブ連合会、しおさいの家敬老会、ボランティア養成講座・・・・３P
赤い羽根共同募金オープニングセレモニー、こんにちは赤ちゃん訪問・・４P
ふくしの情報、お知らせ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５P～６P

QRコード

## 今月の表紙

寄贈：福祉車両
（やっとかめ号）

令和２年９月１２日

名古屋市の補聴器・介護用品販売会社 株式会社アンプリライブ（代表取締役 今井浩詞）よりいただいた寄付金を活用し、陸前高田市社会福祉協議会では福祉車両（マイクロバス）を購入しました。

市民の皆さんにより多く活用していただければと思います。

※詳しくは2ページをご覧ください。

この広報紙は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

名古屋市から陸前高田市へ
陸前高田市から名古屋市へ

# 感謝状･福祉車両贈呈式

名古屋市の補聴器・介護用品販売会社 株式会社アンプリライブ様より、東日本大震災の翌年から毎年いただいたご寄付で、この度福祉車両としてマイクロバスを購入しました。

そこで９月１２日、株式会社 アンプリライブ今井社長、名古屋市会議員 田辺氏をお招きして、陸前高田市コミュニティホールにて感謝状並びに福祉車両の贈呈式がおこなわれました。

**愛称**

**「やっとかめ号」** (やっとかめ(８０日目)の意味：名古屋弁で久しぶり)

名古屋市の公認キャラクターのはちマル君と陸前高田市のマスコットキャラクター・たかたのゆめちゃんが天の川でつながるデザインが目印。

(株)アンプリライブ 社長(右)より陸前高田市社会福祉協議会 会長(左)へ、レプリカキーが手渡されました。

陸前高田市 市長(左)より(株)アンプリライブ 社長(右)へ、感謝状が贈られました。

電動補助ステップが装備され、乗り降りがしやすくなっております。

---

## こんなお困りごとありませんか？

- ✔ 仕事がなかなか決まらない
- ✔ 借金を抱えており、生活が苦しい
- ✔ 明日から食べるものがない
- ✔ 周囲に頼れる人がいない
- ✔ なぜかいつもお金が足りない
- ✔ こどもの将来が心配

## どんな相談、支援が受けられるの？

| | |
|---|---|
| 自立相談支援 | ・あなたの困りごとを一緒に整理し、解決に向けた選択肢を考えます。<br>・必要な場合には、適切な関係機関へ繋ぎ、切れ目のないチーム支援をします。 |
| 家計相談支援 | ・日常の生活費やその使い方に不安がある方と一緒に家計を見直します。<br>・借金や滞納の整理と返済方法を一緒に考えます。 |
| その他の支援 | ・フードバンク岩手と連携した食料支援<br>・生活福祉資金貸付事業へのつなぎ<br>・生活保護受給者等就労促進支援事業へのつなぎ など |

この事業は「生活困窮者自立支援法」に基づき、陸前高田市より委託を受けて実施しています。

そんな時には･･･

## くらし応援窓口へ ご相談ください

仕事、お金、住まいなど日常生活の中で、様々な不安や悩みを抱える方のための相談窓口を設置しております。ご相談者やご家族の**「何とかしたい」**という気持ちに寄り添って、自立に向けた支援をしていきます。

**相談の流れ**

相談無料
秘密厳守

① まずはご相談下さい。
② あなたの話をよく聞き、困りごとを整理します。
③ 一緒に解決策を考え、解決に向けたプランをたてます。
④ プランに沿って、あなた（世帯）の自立をお手伝いします。
⑤ 解決後も必要に応じて、フォローします。

**くらし応援窓口**

①陸前高田アムウェイハウスまちの縁側
（陸前高田市高田町字館の沖111　KC17-1-1）
②陸前高田市社会福祉協議会鳴石事務所
（陸前高田市高田町字鳴石50-10 ）
受 付：月曜日～金曜日　※ 年末年始、祝日を除く
午前１０時００分～午後４時００分
電 話：54-5150／5151 担 当：脇坂

# 陸前高田市老人クラブ連合会

（老人クラブ：新沼 薫氏）

９月１０日(木)陸前高田市老人クラブ連合会では、高田小学校３年生の総合学習の一環とした「高田の昔を学ぼう」と題した授業に４人の方が参加し、高田の昔についてのお話をしました。

参加した児童からは、「高田の昔のことをいっぱい聞けて良かった」「いっぱい方言が知れて良かった」などの声がきかれ、世代を越えた交流の場となりました。

（老人クラブのみなさん）

## 通所介護事業所「しおさいの家」 祝 敬老会

９月２４日(木)、通所介護事業所「しおさいの家」では、敬老会を開催しました。

当日は、６名(男性３名、女性３名)の利用者さんが参加し、記念品が贈呈されました。

社会福祉協議会 佐々木公一会長のあいさつ、記念品贈呈の後、社協相談員による余興が行われ、利用者さんは終始笑顔にあふれていました。

最後に利用者さんより「一人暮らしの私は、週２回しおさいの家に来て人と会うことが楽しいです。今日はありがとう」との感想が話され、大きな拍手がわきおこりました。

（相談員の余興）

右左：今年米寿を迎えるお２人
中央：社会福祉協議会 会長

（参加者一同）

（利用者さんの様子）

令和２年度 第１回

## 福祉ボランティア養成講座

（開会式の様子）

９月２６日(土)、陸前高田市コミュニティホール シンガポールホールで開催された令和２年度第１回ボランティア養成講座には、１６名(男性７名、女性９名)の方に参加していただきました。

今回の養成講座は、コロナ禍における運動不足の解消、健康推進を目指し開催され、福祉の里センター 佐々木陽一氏による講座の後、シャッフルボード体験が行われました。

参加者は、高校生から高齢者と幅広い年齢層となり、高校生からは「おじいちゃん、おばあちゃんと交流ができ良かった」、また高齢者の方からは「若い人たちと久しぶりにふれあうことができ楽しかった」とのご意見をいただき、貴重な交流の場となりました。

（参加者のみなさん）

（シャッフルボードの様子）

たくさんのご参加
ありがとうございました

じぶんの町を良くするしくみ。
# 赤い羽根共同募金

## オープニングセレモニー

赤い羽根共同募金オープニングセレモニーは、１０月１日（木）、アバッセタカタ専門店街で行われました。

当日は、陸前高田市共同募金委員会 戸羽 太 会長より「コロナ禍にあり、今年はさまざまな苦労をされている方が多くおり、全国でも大きな災害が発生している。私たちは、東日本大震災で受けたご恩を忘れてはならない。このような時期であるからこそ、お互いさまという思いで活動している、赤い羽根共同募金を理解していただきたい。」と挨拶。

左:(株)共立土木 代表
右:共同募金委員会 会長

その後、寄付１号企業の株式会社 共立土木様（畠山正彦 代表）より「陸前高田市のためにお役立てください。」と募金が贈呈されました。

例年行われる、園児・児童等のアトラクションは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、市内の関係団体の皆さまのご協力をいただき令和２年度の共同募金運動がスタートしました。

（上下：街頭募金の様子）

## こんにちは 赤ちゃん訪問

### ５月～８月生まれの赤ちゃん（ご家族）をご紹介

「こんにちは赤ちゃん訪問」は、お祝いをするとともに、子育ての不安や悩みをお聞きし、必要に応じて適切なサービスにつなぐなど、お子様の成長を地域で見守るきっかけづくりを目的とし、地域の身近な相談役である民生委員・児童委員さんが、赤ちゃんの生まれたお宅を訪問しています。

さとう いづき
佐藤 伊月ちゃん
（小友町）

さとう ひさな
佐藤 緋真ちゃん
（高田町）

こえと なつ
越戸 夏くん
（小友町）

すずき しょうま
鈴木 翔天くん
（小友町）

かんの じゅんこ
菅野 准子ちゃん
（竹駒町）

ちば ふみ
千葉 風海ちゃん
（米崎町）

むらかみ なつは
村上 夏波くん
（広田町）

お困りごとなどありましたら、お気軽に地域の民生委員さんへご相談ください。写真の掲載にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

こんにちは赤ちゃん訪問事業は、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

## 受付期間延長のお知らせ

無料相談

### 新型コロナウイルス感染症の影響により生活資金でお悩みの皆さまへ

各都道府県社会福祉協議会では、低所得世帯に対して、生活費等の必要な資金の貸付け等を行う生活福祉資金貸付制度を実施しております。

本制度につき、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付けの対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施します。

なお、緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付けについて、受付期間を令和２年12月末まで延長されることとなりました。

これにより、総合支援資金の特例貸付における３ヶ月を越える貸付についての延長申請の受付は12月末までとなり、延長は1回までになります。

**※詳しい内容のお問合せや貸付のご相談は、下記の問い合わせ先へお願いします。**

陸前高田市
社会福祉協議会
「くらし応援窓口」

住　　所：陸前高田市高田町字鳴石５０-１０
受付時間：９：００～１７：００
（平日：月～金曜日）
電　　話：０１９２-５４-５１５０/５４-５１５１

生活福祉資金

## 教育支援資金のご案内

教育支援資金は、低所得世帯（生活保護世帯を含む）に対して、高等学校、大学、高等専門学校への就学に必要な費用を無利子で貸し付けするものです。

教育支援資金には「教育支援費」（授業料、定期代等）と「就学支度費」（入学金、制服・教科書の購入費）の２つの資金種があります。

※　世帯の状況に応じて、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援機関等の支援を利用いただく場合があります。

### *日本学生支援機構奨学金と生活福祉資金との優先関係*

1　給付型奨学金
2　第一種奨学金（無利子）
3　*生活福祉資金（教育支援資金）*
4　第二種奨学金（有利子）

※「就学支度費」は上記優先に関わらず利用できます。

- 申請には、地域の民生委員さんの意見書が必要になります。
- 陸前高田市社協での相談受付、申請手続き後、岩手県社協で審査、決定となります。

※　申請から決定までに約１ヶ月程かかりますので、日程に余裕を持ってご相談ください。

- ご相談の際には、事前にお電話にて予約のうえ、来所してください。

| 資金種 | | 貸付限度額 |
|---|---|---|
| 教育支援資金 | 教育支援費 | ①　高等学校（専修学校高等課程含む）<br>月額　35,000円以内<br>②　高等専門学校<br>月額　60,000円以内<br>③　短期大学（専修学校専門課程含む）<br>月額　60,000円以内<br>④　大学<br>月額　65,000円以内<br>※　上記の貸付限度額では学費が不足する場合など、一定の要件に該当する場合には、教育支援費の貸付限度額を1.5倍とすることが可能になりました。 |
| | 就学支度費 | 500,000円以内 |
| 据置期間：卒業後6ヶ月以内<br>償還期間：20年以内　貸付利子：無利子 | | |

問い合わせ　電話　54-5150/54-5151　担当　脇坂

## 令和2年度 介護予防教室 いきいきライフのご案内

陸前高田市社会福祉協議会では、社会参加と生きがいや健康づくりを目指し、いきいきライフを開催しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しておりましたが、この度、市民の声や施設関係者等と話を重ねた結果、感染拡大防止に努めて感染リスクが低い内容に切り替えて開催することとなりました。

内容やスケジュールについては、下記のとおり開催を予定しており、近くなりましたら全戸配布にてご連絡させていただきます。

つきましては、ご参加いただく際は、全戸配布にてチラシの内容をご確認の上で、記載された電話、FAX、来所にてお申込みください。

**内容　講　師：陸前高田市保健福祉総合センター　石木　幹人 所長**
**テーマ：「新型コロナウイルス感染症予防について」**

| 開催地区 | 開催日 | 開催時間 | 開催場所 | 定員 |
|---|---|---|---|---|
| 生出地区 | １１月２０日（金） | １０：００～１１：３０ | 生出地区コミュニティセンター | 20名 |
| 矢作地区 | １１月２７日（金） | １０：００～１１：３０ | 矢作地区　山崎公民館 | 30名 |
| 下矢作地区 | １２月　４日（金） | １０：００～１１：３０ | 下矢作地区コミュニティセンター | 30名 |
| 横田地区 | １２月１１日（金） | １０：００～１１：３０ | 横田地区コミュニティセンター | 20名 |
| 竹駒地区 | １２月１６日（水） | １３：３０～１５：００ | 竹駒地区コミュニティセンター | 30名 |
| 今泉地区 | １月２２日（金） | １０：００～１１：３０ | 今泉地区コミュニティセンター | 30名 |
| 長部地区 | １月２９日（金） | １０：００～１１：３０ | 長部地区コミュニティセンター | 30名 |
| 米崎地区 | ２月　５日（金） | １０：００～１１：３０ | 米崎地区コミュニティセンター | 30名 |
| 小友地区 | ２月１２日（金） | １０：００～１１：３０ | 小友地区コミュニティセンター | 25名 |
| 広田地区 | ２月１９日（金） | １０：００～１１：３０ | 広田地区コミュニティセンター | 30名 |
| 高田地区 | ２月２６日（金） | １０：００～１１：３０ | 陸前高田市コミュニティホール | 50名 |

◆その他

※会場までは、指定のバス停より福祉バス等で送迎しますが、送迎バスの車内の密を防ぐため、自家用車での参加もできます。
※感染対策防止を行いますので、検温、消毒、人との距離の確保等のご協力をお願いします。
※内容や開催スケジュールは変更になる場合があります。最終的な内容は、開催前にチラシを全戸配布しますので、ご確認願います。

問い合わせ
陸前高田市社会福祉協議会
地域支援部門
電話　５４-5150／5151
担当：菊池

## 市内18台目　赤い羽根募金自動販売機が設置されました

気仙町今泉地区コミュニティセンターの施設内に「赤い羽根募金自動販売機」が設置されました。

この自動販売機の売上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付され、地域の福祉活動や災害支援のために役立てられます。

市共同募金委員会では、「赤い羽根募金自動販売機」の設置主様を募集しています。ドリンクを購入して地域福祉に貢献できる取り組み「赤い羽根募金自動販売機」の設置に、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

右：今泉コミュニティセンター事務局長
左：社会福祉協議会 常務理事

問い合わせ　陸前高田市共同募金委員会　電話　54-5150／5151　担当　小山

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 中止となる社協主催行事等について

国の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の基本的対処方針等を踏まえ、社協主催の行事や社協が事務局を担っている各団体の会合・行事等を当面中止もしくは延期をしております。

・お茶っこサロン
（矢作、下矢作、横田、竹駒、長部、米崎）

※今後の開催については、各地域へ個別に連絡または、社協広報にてお知らせします。

※国や県、市の感染状況や要請等によっては変更になる場合がありますのでご了承ください。